

## 『問題と研究』執筆要綱

2026年3月適用

- 誌面の統一性を保持するため以下の要綱に従ってください。
- 弊誌編集委員会は原稿の書式及び文言に対する削除・修正の権利を有します。
- 中国語で論文を投稿する場合は、中国語の要綱（日文版《問題と研究》撰稿體例）を参照してください。
- 匿名2名以上による審査があります(Double Blind Peer Review)。

## 一、構成

- 1、論文題名（日本語、中国語、英語）。
- 2、筆者名、現職（日本語、中国語、英語）。
- 3、要約（日本語 400 字以内、中国語 300 字以内、英語 200 ワード以内）とキーワード 4~5 語。
- 4、本文（図表/注釈）：「三、本文規格」「四、参考文献の書式（本文中）」を参照。
- 5、参考文献リスト：「五、参考文献の書式（文末）」を参照。
- 6、筆者紹介：姓名、姓名ローマ字、学歴、職歴、主要研究分野、主要著作（出版社、出版年）。
- 7、字数は約 12,000 字～18,000 字（脚注、図表、引用文献、謝辞、付録、参考文献を含む）。

## 二、使用言語及び必要項目

- 1、論文は日本語で掲載する。論文題目、作者氏名、作者現職/役職、要約文、キーワードについては、中国語、英語も併せて掲載する。
- 2、投稿の際、以下の資料をメールに添付すること（●=必須、○=筆者の要望により編集部が協力可）。

	日本語	英語	中国語
論文題目	●	●	○
作者氏名	●	●	○
作者現職/役職	●	●	○
要約文	●	●	○
キーワード	●	●	○
本文	●	—	—
参考文献リスト	●		

## 三、本文規格

- 1、書体：和文は MS 明朝、英文は Times New Roman とする。
- 2、章たて：本文は一（第一章）、から始まり、最後の章を「おわりに」または「結論」とする。見出しはすべて太字で表記し、大見出し（章）は漢数字：一、二…。中見出し（節）はアラビア数字全角：1、2…。小見出し（項）は（アラビア数字全角）：(1)、(2)…。続いて、ローマ数字：I、II…、i、ii…、(i)、(ii) …、a、b、(a)、(b) …。
- 3、図表：図と表の上方に通し番号を付け、「図 1 000」「表 1 000」のように見出しを表記する（太字）。各図表の下に資料の出典を必ず明記し、注釈（説明）がある場合は、「注：」「出典：」の順で明記する。
- 4、引用：原文を引用する場合は、「」（カギ括弧）にて引用を表記。引用する文章が数行に及ぶ場合は、段落を下げて前後一行ずつ空け、引用部分全体を全角 2 文字分字下げして記述する。

- 5、略語を使用する場合は、最初に使用した箇所で正式名称を記載し、括弧書きで使用する略語・フルスペルを記載する。例：两岸経済協力枠組協議（ECFA：Economic Cooperation Framework Agreement）※以降、ECFAと省略可。
- 6、中文以外の外国語の固有名詞は片仮名書きとし、（ ）を付して原語を添える（例：アダム・スミス（Adam Smith））。ただし、一般に周知されている名称は片仮名書きのみでよい。
- 7、記号：和文・中文部分の記号は全角を使用し、英文は半角を用いる。
- 8、数字：
  - （1）年号は原則、西暦で表記し、昨年・本年などの表記を用いる場合は具体的な年数も記載する。例：昨年（2025年）。
  - （2）数量、序数を表す数字は半角アラビア数字を使用する。例：7m、56歳。
  - （3）漢字と結合して名称や概数を表す場合は漢数字を使用する。例：三角形、数百例、三条ねじ。
- 9、注釈：各ページの下に表記（脚注）。注番号は、全編通し番号。注番号と句読点が重なっている箇所では、注番号を句読点の前にふる。
- 10、本文内にて「拙稿○○○では、」等、執筆者を識別できるような表現を控える。

#### 四、参考文献の書式（本文中）

本文中（図表を含む）で引用した文献は、**著者、出版年、ページ数の順**で、引用した箇所に記載する。句読点が重なっている箇所では、句読点の前に記載する。

- 1、和文・英文資料の著者名は、姓（ラストネーム）のみ表記し、中文資料は姓名（繁体字）を明記する。
 

例：……本文……（高松 2011）。

……本文……（吳玉山 2012）。

……本文……（Allison 1971）。
- 2、引用したページ数は詳細に記載する。連続ページは半角ハイフン"-","、断続ページは半角カンマ","を使用する。ただし参考範囲が文献全体やウェブサイトの場合は、ページ数の記載を省略可。
 

例：……本文……（黄紀 2001, 542-543）。

……本文……（マキアヴェリ 1966, 321）。

……本文……（The White House 2025）。
- 3、資料の著者が2人の場合は2人の名前を記載し、3人以上の場合は筆頭著者のみ記載し、その他の著者名は「ほか」（中文資料は「等」、英文資料は「et al.」）を用いて省略する。
 

例：……本文……（新藤、阿部 2016）。

……本文……（久米ほか 2011）。

……本文……（何思因、吳釗燮 1996, 1-16）。

……本文……（行政院經貿談判辦公室等 2024）。

……本文……（Campbell and Miller 1957, 293-295）。

……本文……（King et al. 1994, 21-23）。
- 4、2篇以上の文献列記はセミコロン";"を使用し、文末の参考文献リストの列記順に並べる。
 

例：……本文……（日本経済新聞 2024；読売新聞 2024）。

……本文……（麥留芳 1988, 43；Chew 1994, 934；Mak 2000, 50-53；Sappiah 1996, 54, 92, 105）。
- 5、出版年が不明な資料は「n.d.」と記載する。
 

例：……本文……（経済産業省 n.d.）。

……本文……（Federal Reserve Board n.d.）。

- 6、同一著者の異なる出版年の文献を列記する場合は、出版年をセミコロンで区切る。また同一著者、同一発行年の文献は、a、b、c... を付けて区別する。  
 例：……本文……（Mueller 1970；1973）。  
 ……本文……（林正義 2009a）。  
 ……本文……（U.S. Department of the Treasury n.d.-b）。
- 7、本文内に著者の名前がある場合は、名前の後ろに出版年（あればページ数）を記載してもよい。  
 例：天児（1992, 146）は、……本文……  
 また、葉俊榮（2009）は……本文……  
 このほかに、Noris（2004）によると、……本文……
- 8、インタビュー記録は、詳細を脚注に表記する。文末の参考文献には列記しない。  
 例：作者インタビュー：取材相手（所属機関・職稱）、取材場所、yyyy年mm月dd日。

## 五、参考文献リストの書式（文末）

- 本文中（図表を含む）の全ての参考文献は、本文の後に＜参考文献＞として、和文資料、中文資料、英文資料、その他言語の資料の順に列記する。和文資料は著者の姓の五十音順（翻訳書も同じ）、中文資料は著者の姓の総画数順、英文資料は著者の姓のアルファベット順に並べる。
- 本文に記載のない文献は列記しない。
- 中文資料は簡体字の資料も含め、すべて繁体字で明記する。
- 英文資料以外の文献は、ローマ字（中文資料は拼音）及び英語訳を加える。
- ローマ字（拼音）及び英文資料の著者名は、筆頭著者のみ姓-名の順で記載し、その他は名-姓の順で記載する。
- 和文と中文に用いる記号は、ページのハイフン“-"を除き全角を使用し、英文及びローマ字（拼音）の箇所の記号は半角を用いる。
- 学術誌・編書論文は、該当論文の開始のページと終了のページを記す。
- 同一著者の複数の著作を引用した場合は、出版年順に並べる。

### 〔一〕書籍 <形式> 著者姓名、出版年『書名』出版社名。

本間正義、2014『農業問題：TPP後、農政はこう変わる』ちくま書房。

Honma, Masayoshi. 2014. *Nogyo mondai: tpp go nosei wa ko kawaru [Agriculture Problem: Agricultural Administration Will Be Changed After TPP]*. Chikuma shobo.

王甫昌、2003『當代台灣社會的族群想像』群學出版。

Wang, Fu-chang. 2003. *Dangdai Taiwan shehui de zuqun xianxian [Ethnic Imagination in Contemporary Taiwanese Society]*. Socio publishing.

Rigger, Shelly. 1999. *Politics in Taiwan: Voting for Democracy*. Routledge.

### 〔二〕学術雑誌 <形式> 著者姓名、出版年「論文名」『雑誌名』巻数（号数）：論文の初ページ終ページ。

藤和彦、2016「原油暴落が揺るがす日本のエネルギー安全保障」『海外事情』64（4）：45-58。

Fuji, Kazuhiko. 2016. “Genyu boraku ga yurugasu nihon no enerugi anzenhoshō” [Changing Japanese Energy-security-policy by the Oilprice Plunge]. *Journal of World Affairs*, 64(4): 45-58.

黄紀、2001「一致與分裂投票：方法論之探討」『人文及社會科學集刊』13（5）：541-574。

Huang, Chi. 2001. “Yizhi yu fenlie toupiao: fangfalun zhi tantao” [Straight- and Split-ticket Voting: Methodological Reflections]. *Journal of Social Sciences and Philosophy*, 13(5): 541-574.

Dornbusch, Rudi. 1976. "Expectations and Exchange Rate Dynamics." *Journal of Political Economy*, 84(1): 1061-1076.

**(三) 編書論文** <形式> 著者姓名、出版年「論文名」編者『書名』：論文の初ページ終ページ、出版社。

吉田和夫、1985「国際政治体制の変遷」安場保吉、江崎光男編『経済発展論』：40-65、創文社。

Yoshida, Kazuo. 1985. "Kokusai seiji taisei no henshen" [Transition of International Political System].

Yasukichi Yasuba and Mitsuo Ezaki, eds., *Keizai hatten ron [Economic Development Theory]*, pp.40-65. Sobunsha.

曾熾芬、2008「誰可以打開國界的門？移民政策的階級主義」夏曉鵬、陳信行、黃德北主編『跨界流離：全球化下的移民與移工』：135-164、唐山出版社。

Tseng, Yen-fen. 2008. "Shei keyi dakai guojie de men? yimin zhengce de jieji zhuyi" [Who can be Us? Class Selection in Immigration Policy]. Hsiao-chuan Hsia, Hsin-hsing Chen, and Te-pei Huang, eds., *Kuajie liuli: quanqiu hua xia de yimin yu yigong [Transborder and Diaspora: Immigrants and Migrant Workers under Globalization]*, pp.135-164. Tonsan.

Coole, Diana, and Samantha Forst. 2010. "Introducing the New Materialism." Diana Coole and Samantha Forst, eds., *New Materialism: Ontology, Agency, and Politics*, pp.1-43. Duke University Press.

**(四) 會議論文 (フォーラム、シンポジウム)** <形式> 著者姓名、開催年「論文名」會議名、開催地。

曾根泰教、2010「政権交代における権力と政策」現代日本と中国大陸シンポジウム、台北：国立政治大学現代日本研究センター。

Sone, Yasunori. 2010. "Seiken kotai ni okeru kenryoku to seisaku" [Power Shift and Policy-Making]. Paper presented at Contemporary Japan and China Symposium, Taipei: Center for Modern Japan Studies, National Chengchi University.

黃紀、王德育、2009「2008年立委選舉對總統選舉的影響：鐘擺效應？西瓜效應？」2009年台灣選舉與民主化調查國際學術研討會、台北：國立政治大學選舉研究中心。

Huang, Chi, and Te-yu Wang. 2009. "2008 nian liweixuanju dui zongtong xuanju de yingxiang: zhongbai xiaoying? xigua xiaoying?" [The Impact of 2008 Legislative Yuan Election on the Presidential Election: Pendulum Effect or Coattail Effect?]. Paper presented at the 2009 International Conference on Taiwan's Election and Democratization Study, Taipei: Election Study Center, National Chengchi University.

Ghobarah, Hazem, Paul Huth, Bruce Russett, and Gary King. 2001. "The Comparative Political Economy of Human Misery and Well-Being." Paper presented at the Annual Meeting of the American Political Science Association, San Francisco.

**(五) 學位論文 (未公刊)** <形式> 著者姓名、年度「論文名」大学名、学位。

板山真弓、2014「日米同盟における共同防衛体制の成立 1951-1978年」東京大学総合文化研究科博士論文。

Itayama, Mayumi. 2014. *Nichibei domei ni okeru kyodo boeitaisei no seiritsu 1951-1978 [Establishment of the collective defense arrangement in the U.S.-Japan alliance 1951-1978]*. Ph.D. diss., Department of Advanced Social and International Studies, Graduate School of Arts and Sciences, University of Tokyo

歐陽睿、2007「崛起與威脅：英國崛起下的荷蘭共和國 (A.D. 1604-1702)」國立政治大學政治學研究所碩士論文。

Ou Yang, Ray. 2007. *Jueqi yu weixie: yingguo jueqi xia de helan gongheguo (A.D. 1604-1702) [Rise and Threat: The Dutch Republic under the Rise of Great Britain (A.D. 1604-1702)]*. MA thesis, Graduate School of Political Science, National Chengchi University.

- (六) 新聞** (著者名がある場合) <形式> 著者姓名、発行年「記事の題目」『新聞名』mm月dd日。  
(著者名がない場合) <形式> 新聞名、発行年「記事の題目」mm月dd日。

朝日新聞、2013「首相動静」3月25日(朝刊)。

Asahi Shimbun. 2013. “Shusho dosei” [Prime Minister’s Movements]. March 25, Morning ed.

陳孝平、2007「還在『小看』深綠力量」『聯合報』3月7日。

Chen, Xiao-ping. 2007. “Haizai ‘xiaokan’ shenlu lilian” [Still “Despise” the Strength of Deep-green Supporters]. *United Daily News*. March 7.

Pomfret, John. 2002. “China Easing Way for Bush Visit; Invitations to Taiwanese Officials Among Good Faith Efforts.” *Washington Post*. January 25.

- (七) 翻訳作品** (和文) <形式> 原著者姓名\* (翻訳者姓名)、出版年『書名』出版社名。\*姓→名の順  
(中文) <形式> 翻訳者姓名、原著者姓名、出版年『書名』出版社名。  
(英文) <形式> 原著者姓名、翻訳者姓名、出版年『書名』出版社。

サックス、ジェフリー (鈴木主税、野中邦子訳) 2006『貧困の終焉』早川書房。

Sachs, Jeffrey D., trans. by Chikara Suzuki and Kuniko Nonaka. 2006. *Hinkon no shuen [The End of Poverty: How We Can Make It Happen in Our Lifetime]*. Hayakawa Publishing.

吳重禮、陳慧玟譯、David R. Mayhew 著、2001『分立政府：1946-1990年期間之政黨控制、立法與調查』五南圖書出版。

Wu, Chung-li, and Hui-wen Chen, trans., David R. Mayhew. 2001. *Fenli zhengfu: 1946-1990 nian qijian zhi zhengdang kongzhi, lifa yu diaocha [Divided We Govern: Party Control, Lawmaking, and Investigations, 1946-1990]*. Wunan Books.

Derrida, Jacques, trans. by Gayatri Chakravorty Spivak. 1997. *Of Grammatology* (corrected ed.). Johns Hopkins University.

- (八) ウェブサイト** 基本的に上記書式を用い、最後に URL・閲覧日を明記する。ページ数は省略可。

大西康雄、2017「一帯一路構想とその中国経済への影響」『アジア研ポリシー・ブリーフ』No.86 (3月29日)、<https://www.ide.go.jp/Japanese/Publish/Reports/Ajiken/086.html> (閲覧日：2021/4/15)。

Onishi, Yasuo. 2017. “Ittaichiro koso to sono chugoku keizai heno eikyo” [One Belt, One Road Plan and Its Impact on the Chinese Economy]. *IDE Policy Brief*, No.86, March 29 (Accessed on April 15, 2021).

首相官邸、2015「内閣総理大臣談話」8月14日、[https://japan.kantei.go.jp/97\\_abe/statement/201508/0814statement.html](https://japan.kantei.go.jp/97_abe/statement/201508/0814statement.html) (閲覧日：2021/3/29)。

Prime Minister of Japan and His Cabinet. 2015. “Naikaku sori daijin danwa” [Speeches and Statements by the Prime Minister]. August 14 (Accessed on March 29, 2021).

張加、2018「川普提名太平洋司令哈里斯 任駐澳洲大使」『聯合新聞網』2月10日、<https://udn.com/news/story/6809/2979439> (査閲時間：2018/2/13)。

Zhang, Jia. 2018. “Chuanpu timing taipingyang siling halisi ren zhu aozhou dashi” [Trump Nominates Pacific Fleet Commander Harris as Ambassador to Australia]. *Udn.com*. February 10 (Accessed on February 13, 2018).

張嘉尹、2001「我國立委選舉制度的檢討—從德國的「單一選區兩票制」談起」、[http://taup.yam.org.tw/announce/0102/010212-c.htm#\\_Toc506792508](http://taup.yam.org.tw/announce/0102/010212-c.htm#_Toc506792508) (査閲時間：2003/8/20)。

Chang, Chia-yin. 2001. “Woguo liwei xuanju zhidu de jiantao: cong deguo de ‘danyi xuanqu liangpiaozhi’ tanqi” [A Review on Taiwan’s Legislative Electoral System: Based on the German Mixed-Member System]. (Accessed on August 20, 2003).

BBC News. 2014. “Hong Kong protests: UK ‘concerned’ about situation.” September 29. <http://www.bbc.com/news/uk-29411128> (Accessed on October 2, 2014).

International Trade Centre (ITC). n.d. “Trade Map.” <https://www.trademap.org/Index.aspx> (Accessed on July 24, 2025).